

ID:	=患者情報B1			(ダトロウェイ [ダトホタマブ デルクステカン]) 療法				施行日	クール	
患者氏名	=患者情報B2							殿		
年齢 性別	=患者情報B6	=患者情報B7	入院/外来	入力日	年	月	日			
疾患名					開始日	年	月	日		
					診療科					
クール	3週毎 (Day1のみ)				申請 医師名					
適応 基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input checked="" type="checkbox"/> 2nd Line <input checked="" type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発				告知の 有無	P S	同意書 取得	<input type="checkbox"/> 済		
	<input checked="" type="checkbox"/> ホルモン陽性 <input type="checkbox"/> HER2陽性 <input checked="" type="checkbox"/> アントサイクリン系薬剤又はタキサン系薬剤 による治療歴				身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00 m ²

ダトロウェイ注は当院 未採用薬のため、「緊急医薬品使用届」の提出が別途必要です。

処方医へ 必ず下記を実施・確認して下さい。
 ・投与開始前に必ず胸部CT検査、胸部X線検査、動脈血酸素飽和度 (SpO2) 検査及び問診を行ってください。
 ・間質性肺疾患の合併又は既往歴がない事を確認し、投与の可否を慎重に判断してください。

重要 B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、**全例スクリーニング対象となります。** 化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

薬品名	単位	外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外
ダトロウェイ 初回 6	<input checked="" type="checkbox"/> mg/kg <input type="checkbox"/> mg/body		

レジメン内容				
順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
①	レスタミン錠 (10mg) カロチナル錠 (500mg)	5錠 1錠	P.O	②と同時に投与
②	アロカリス点滴静注 (235mg)	1V	D.I.V	30分
	デキサト注 (3.3mg)	9.9mg		
	パロセトン点滴静注バッグ (0.75mg/50mL/袋)	1袋		
③	5%ブドウ糖液 (20mL)	1A	I.V	ラインフラッシュ用
④	ダトロウェイ点滴静注用 (ダトホタマブ デルクステカン)	mg	D.I.V (遮光して)	90分以上 かけて <small>※初回投与の忍容性が良好の場合 30分に短縮可能</small>
	注射用水 (20mL)	1A		
	5%ブドウ糖液 (100mL)	100mL		
⑤	5%ブドウ糖液 (20mL)	1A	I.V	ラインフラッシュ用

ダトロウェイの投与量設定 (参考)・・・ 4mg/kg ⇔ 3mg/kg ⇔ 投与中止

角膜障害があらわれることがあるので、定期的に眼の症状を確認してください。
予防： 人口涙液を1日6回程度 点眼
※点眼液に含まれる防腐剤により、角膜の炎症を悪化させる可能性があるため、防腐剤を含まない点眼液 (ソフトサンティアや
 なみだロートファイブなど) を使用してください
 ※ヒアルロン酸Naなどの粘稠性の高い点眼液の使用は、抗がん剤を含んだ涙液を滞留させる可能性があるため、
 使用を避けてください。
 ※防腐剤を含まない人口涙液の医療用医薬品は販売されてないので、**一般用医薬品の人口涙液**を使用してください。

【薬剤師へ】ダトロウェイ点滴静注用のミキシング時の注意点
 ①ダトロウェイ点滴静注用1瓶に対して注射用水5mLで溶解し、20mg/mLとして必要量を抜き取る
 ②フィルター付プライミングセットを使用してください。
 ③払い出す際には「遮光袋」で遮光した上で払い出しをして下さい。

【看護師へ】ダトロウェイ点滴静注用の投与時の注意点
 ①生理食塩水で配合変化が起こります！ルート内は5%ブドウ糖液でフラッシュして下さい。
 ②光で分解します！投与中も混注ボトルには遮光袋をかけたままで投与して下さい。
 ③調製及び投与を合わせて**4時間以内**に使用して下さい。

1Kur目	2Kur目	確認者	監査者
Day 1 8 15 22 29			
ダトホタマブ デルクステカン	↓ ↓		

注意事項など